

にゅーすれたーふじやま・長泉 ミニHCRを終えて



2014. 8

パナソニックエイジフリー介護チェーン

株式会社コーチョー、福祉事業部（「パナソニックエイジフリー介護チェーンふじやま・長泉」）が10年経過したのを記念し、皆様への感謝の意味を込めて7月19日（土）ホテルグランド富士にてミニHCRを開催しました。ケアマネージャーさんはじめ一般の方など、多くのご来場、誠にありがとうございました。部を代表して心より御礼申し上げます。今回のメインテーマである「おむつの選び方、あて方セミナー」には用意した椅子では足りないほど多くの方に参加していただきました。講師の野呂千鶴さんも大変喜んでいらっしゃいました。私も聴講しましたが、おむつあての実演は、観覧されている方が総立ちで、熱心にメモを取られているのが印象的でした。出前研修も用意しておりますのでどうぞご用命ください。モリトーの移譲リフトへは一般の方がかなり興味をもたれ、「配偶者を介護するようになったらこれは便利」と自ら体験されている姿が多く見られました。徳武産業の「あゆみ」は高齢者のくつの定番、足の測定器には行列ができるほどの人気でした。



会場風景



<セミナー参加者の声>

どうしても知りたいことがあったので暑い中、スーツでおずおず参加しました。フカフカのジュータンを踏みながら会場へ行くと、主催者の人がニコニコして出迎えてくれたので、ほっと安心しました。実は身内の70代男性が脳梗塞で倒れて寝たきりになり、床ずれが深刻になっていたので、解消法や良いグッズがないかと思っていたのです。素人が要領を得ない質問をぐだぐだ発しても、係の人は嫌な顔一つせず見やすいカタログや実物を示しながら丁寧に説明してくれました。

貰ったカタログと仕入れた知識をさっそく身内へ伝えたところ、役所へ申請の手続きをすると喜ばれました「痴呆とか介護のことは地域包括センターへ」などと町内の回覧には書いてありますが、なかなか気軽には相談に行けません。しかし、今回のような民間の人が企画して、ニコニコ説明してくれると、本当にありがたいです。セミナーは人手も経費もかかって大変だと思いますが、これからも時々やってくだされれば助かります。コーヒー・ケーキごちそうさまでした（市内70代男性）

貴重なお声をいただきました。ありがとうございます。やはり実物に触れて納得していただくのが一番だと思います。このセミナーは販売促進より、「知っていただく、触れていただく」のが目的です。今後も社会貢献のつもりで、開催させていただくつもりです。

渡邊啓視